

talknのご提案（10/30(金)）に上がった課題に対する解決案を4点挙げさせていただきます。
②③④が実質の案になっております。
ご査収の程、お願い致します。

目的：1Mに100UUを実現する(初期体制での広告黒転ライン)
課題：現実的にtalknを効率的に広める施策

案①タグを埋め込まずにLIVE数ランキングの世界を実現できないか？(吉村さん発案)

→ LIVE数の状態を保持するDBがサーバー内にある以上、
サーバーのエンドポイントにアクセスする'仕掛け(scriptタグ記述 or httpsアクセス)'はどうしても必要になる。
話に上がったApp Annieは公開されているレビュー情報の解析&分析ツールをデベロッパーに導入してもらう
泥臭いやり方でデータ生成している模様。

- ①App StoreやGoogle Playなどで公開されている、国毎のアプリランキング情報。
- ②App Annieが提供している無料の分析ツールを、デベロッパーに導入してもらい、そこから匿名化した情報を用いている
- ③インストールされたアプリがどれくらいの頻度・時間で使われているかというデータ。
これはApp Annieが元々所有していた技術に、5月に買収したカナダMobidiaの技術を加え、ユーザーの利用動向から収集している
- ④現時点で米国でのみ行っているもので、マーケット上のアプリに対するユーザーのレビュー情報から、
星の数（点数）だけでなくコメントも言語解析してデータとして活用しているの

これら4つのデータを組み合わせることで、マーケットにおけるアプリの状況を多角的に分析している。

案②リアル事業 POSレジ会社と提携する戦略

前回の打ち合わせ時にはAirレジ、スマレジしか記述がなかったが、
APIを使用出来るPOSレジは他にもあるので、競合と差別化したい会社さまのPOSレジと導入抱き合わせを狙う。
契約内容によるが、talkn側のUIは無料で開発で良いので先方にメリットを提供するのが基本。

- ・ Airレジ(リクルート) 502,000店舗
 - ・ スマレジ(マザーズ上場) 70,000店舗
 - ・ ユビレジ (30000店舗)
 - ・ blaynレジ(5000店舗)
 - ・ Orange-POS(2014年実績4,500店舗)
-

案③リアル事業 スタートアップ都市推進協議会に加盟している行政と組む戦略

<https://startup-toshi.com/archives/product>

スタートアップと組んでくれることを表明している行政と
まずは特定の店舗のみ、特定の商店街のみ、特定のエリアのみと段階的に対応範囲を広げていく。
千葉市はドローン宅配や自動運転などを先駆けて導入する構想を持ち推進しているので、
talknのLIVE数の世界観も提案すれば興味を持ってくれる可能性はある。
実績を作れば、PRを打ちやすくなる&営業デモとして使える(実際の人間が動く方がイメージしやすい)メリットがある

https://www.city.chiba.jp/sogoseisaku/miraitoshi/tokku/tokku_drone.html
https://www.city.chiba.jp/sogoseisaku/miraitoshi/tokku/tokku_mobility.html

案④ネット事業 LIVEランキングポータル開発(talkn@portal)
営業は考えず、国毎のLIVEランキングメディアを量産し宣伝広告をうつ戦略。

・ が〜るずNEWS!

Googleトレンドで現在検索されているワードランキングを抽出し、talknLiveApiにかけてLiveランキング形式で表示。
GoogleのnewsRSSからエンタメニュースのみを抽出し、talknLiveApiにかけてLiveランキング形式で表示。

・ LIVE NEWS JP(US….)

Googleトレンドで現在検索されている国毎のワードランキングを抽出し、talknLiveApiにかけてLiveランキング形式で表示。
GoogleのnewsRSSから国毎のニュースを抽出し、talknLiveApiにかけてLiveランキング形式で表示。

・ Today's Movie JP(US….)

AmazonPrime, Netfix,Hulu等々で国毎に配信されている動画一覧を取得し、talknLiveApiにかけてLiveランキング形式で表示。
リンクから動画に飛べる。

・ Spoty Music JP(US….)

AppleMusic, Spotifyなどの国毎の音楽サブスクリプションを取得し、talknLiveApiにかけてPFを跨いだ総合Liveランキング形式で表示。
音楽はその場で聴ける。

・ App Magazine JP(US….)

AppStore, GooglePlayStoreの国毎のアプリのランキングを取得し、talknLiveApiにかけてLiveランキング形式で表示。
リンクは広告収入にもなる。

・ 、 、 企画次第

これらは全て外部APIxtalknLiveApiの組み合わせで取得したコンテンツをLIVE数順に並べるUIでLINE NEWSのようなUIを想定。
1回LINE NEWSのようなUIを作ってしまうと、外部APIxtalknLiveApiの組み合わせからなるコンテンツを変えるだけで
LIVEランキングアプリが量産出来る。コンテンツは順位毎にそれぞれLINEグループになるイメージ。
これらをtalkn@portalのカテゴリとして設置し、横断検索、閲覧、返信可能にする。

これをある程度作り込めば、talkn@portalに載せませんか？という営業も可能になる。
(Scriptタグを導入したサイトもtalkn@portalから検索されるようになるので。)

案⑤ネット事業 Firebase(コメント共有機能)のUIを伴う集客コメントツールとして公開

<https://own.talkn.io/>
を参考のこと。基本的にはユーザーが能動的にscriptタグを自分のサイトに書き込むことを想定しているが

案④ネット事業 LIVEランキングポータル開発(talkn@portal)

がある程度出来ていないと動作イメージが湧きにくい、メリットを感じにくいと思われる。

肝心なのは1Mに100UUを実現する(初期体制での広告黒転ライン)を達成することなので、
TOKYO LIVE 計画ルートでなくても問題ないと考えます。
現状ですと案②③④⑤を並行して実施し、費用対効果が悪いようなら1つずつ落としていき④⑤だけにする想定です。
(案②③はあくまで目に見える実績獲得・PRのし易さ・後の営業のし易さを考慮してです。)